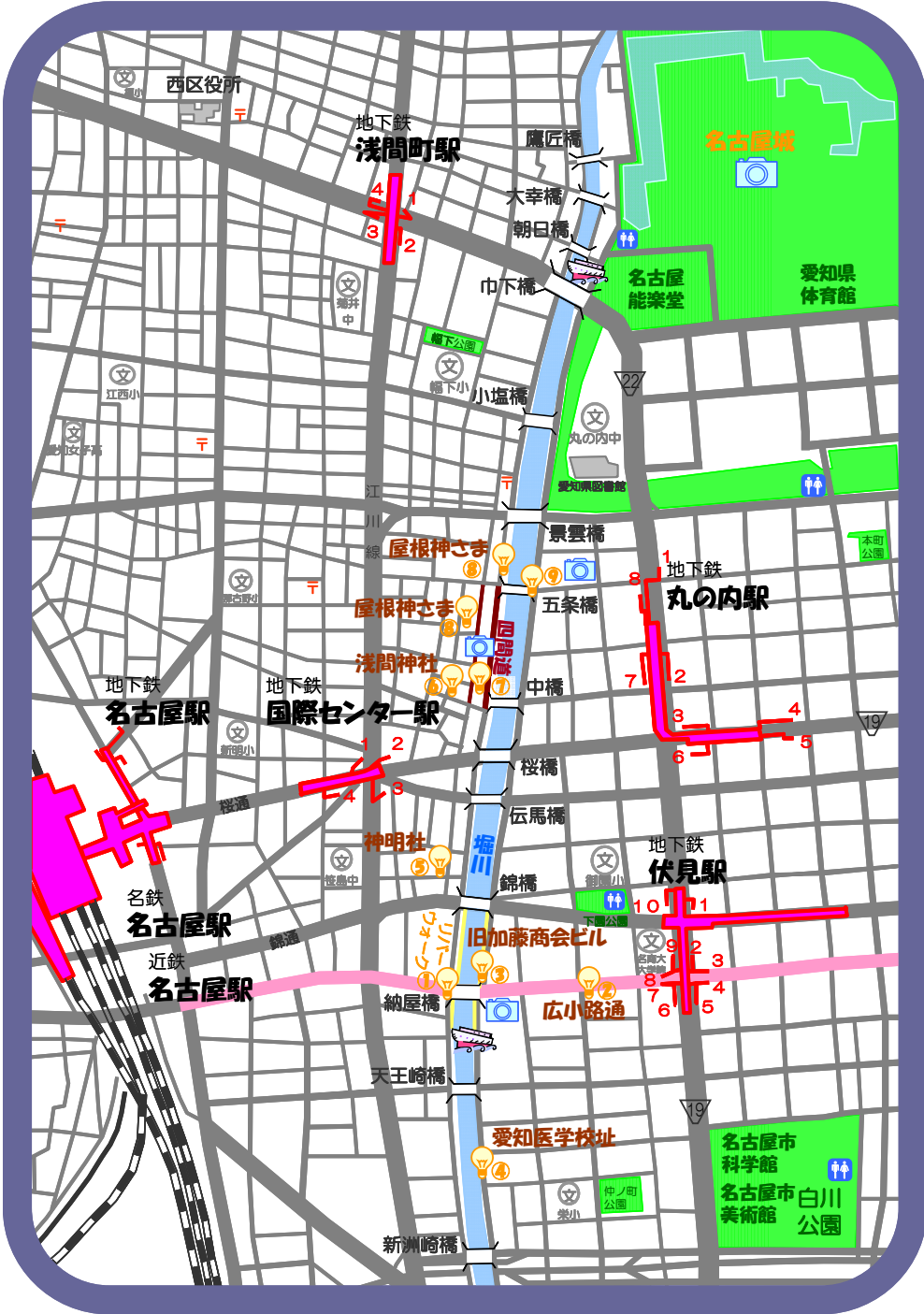


納屋橋エリア てくてくマップ



💡 こんな場所だよ！

- ① **納屋橋**
堀川開削の際に架けられた7つの橋「堀川七橋」のひとつ。現在の橋は、昭和56年に改築されているが、欄干は大正2年のものを修復して使用している。橋の中央部には、三英傑と堀川開削を行った福島正則の家紋が記されている。
- ② **広小路通**
名古屋の東西を貫く名古屋のメインストリート。1660年の大火の後、防火のため3間だった道幅を15間まで拡張した。
尾張名所図会には「はなし、物まね、諸見せ物、居合抜の歯みがき売など、常にむれ居て、往来人の足をとどむ」と記されており、当時の賑わいがうかがえる。
- ③ **旧加藤商会ビル（登録有形文化財）**
昭和6年頃、タイ・香港などと貿易を営む加藤商会の本社ビルとして建てられた。
昭和10年～20年頃には、シャム国（現：タイ国）の名誉領事館が置かれたこともあった。
平成17年1月からは、堀川ギャラリーとレストランとして活用されている。
- ④ **愛知医学学校址**
1877年～1914年まで、この地には、名古屋大学医学部の前身「愛知医学学校・愛知病院」があり、建設から130周年を記念して、川沿いに記念碑が設置されている。
- ⑤ **神明社**
天照大神を祭神とし、大祭では3両の山車（紅葉狩車、二福神車、唐子車）を練りまわす。
また、境内には、埴垣不動、木靈神なども含め全部で8体の神様が祀られている。
- ⑥ **浅間神社**
安産の神といわれる木花之開耶姫が祀られている。境内には、樹齢300年を越えるけやきの木がある。
- ⑦ **四間道（しけみち）**
道を挟んで東側に商家の土蔵、西側に町家が連なる昔ながらの風景を残した道。1700年の大火災後、道幅を4間に広げたことが名前の由来とされている。現在でも、当時の土蔵や町家が残されている。
- ⑧ **屋根神さま**
津島神社、熱田神宮、秋葉神社のお札を祭った屋根の上の小さな祠。屋根の上へのこされているものは、数少なく、屋根からおろされたもののひとつは五条橋のたもとに祀られている。
- ⑨ **五条橋**
堀川七橋のひとつ。清洲越しにより清洲から移築された橋。欄干を飾る当時の擬宝珠は、現在、名古屋城に保管されている。

マップの記号

- 💡 なにか新たな発見があるかも？スポット
- 📷 ちょっといい風景かも！
- 🚻 公衆トイレ

Memo